

中学部で前期校内実習が行われました

7月6日（月）から10日（金）までの5日間、中学部では前期校内実習が行われました。生徒は三つの作業班のいずれかに所属し、自分の目標を達成するために実習に取り組みました。各班の実習の様子をご紹介します。

【木工班】

木工班は、以下の三つの木製品を製作しました。

- ・木製カッティングボード
- ・木製トレイ
- ・木製マグネットバー

また、地元の製材業者様から頂いた木材を活用して、木製品の製作に取り組みました。また、生徒は様々な道具を使って製作に取り組み、校内実習が進むに連れて、自信をもって道具を操作する姿が見られました。



【農園芸班】

農園芸班は校内実習のテーマに「ステップ・アップ」を掲げました。「校内実習中に自分の力を何か一つでもステップ・アップしよう」とメンバー全員で誓いました。農園芸班は、主に以下の二つの活動に取り組みました。

- ・学校花壇への花の定植、花の苗ポットの洗い
- ・花のプランター作りと地域の公園への設置

花のプランターを地域の公園へ設置する活動では、プランターをリアカーと一輪車に載せ、公園まで40分の道のりを歩いて届けました。自分たちのプランターを無事に地域に届けることができ、大きな達成感を感じることができました。



【ハーブ加工班】

ハーブ加工班は、ラベンダーの香り袋の製作に取り組みました。ラベンダーの香り袋を完成させるため、以下の活動に取り組みました。

- ・ラベンダーの刈り取り（八峰町にある“ポンポコ山公園”に刈り取りに出掛けました）。
- ・ラベンダーの花のほぐし。
- ・茎のカット、計量。
- ・ミシンで袋縫い。
- ・ラベンダーの袋詰めとラッピング。

ハーブ加工班のみんなが「50個の香り袋を完成させよう」を合い言葉にして、力を合わせ、56個の香り袋が完成しました。

